

研究課題名	パナソニック細菌カウンタを用いた口腔細菌数のう蝕活動検査への応用
研究期間	実施許可日 ～ 2027 年 12 月 31 日
研究の対象	2022 年 2 月から 2026 年 12 月の間に、広島大学病院歯科外来にてう蝕活動性試験を受けられた患者さん。
研究の目的・方法	<p>研究目的：本研究では、パナソニック細菌カウンタでの口腔細菌数と、その他の情報との相関を調べることによって、パナソニック細菌カウンタでの口腔細菌数がう蝕活動性試験に有用かどうかを検証します。う蝕活動性試験に有用であるという結果を導くことができれば、検査の費用や検査の時間を削減することが可能となります。</p> <p>研究の方法：本研究は、診療録（カルテ）情報および、診療で採取した唾液の残余分を調査して行います。唾液中の細菌叢をメタゲノム解析という手法で調べることを計画しています（遺伝子を精製し、網羅的にどの細菌の遺伝子があるかを調べます。どのような細菌集団で構成されているかがわかります）。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：性別、年齢、唾液量、唾液 pH、緩衝能、DMF 指数、PCR、S. mutans 菌レベル、Lactobacillales 菌レベル等</p> <p>試料：唾液 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
外部への試料・情報の提供	本学単独で実施する研究のため外部へ提供することはありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2022 年 11 月 21 日）
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものかわからないようにします。個人と連結させるための対応表は、研究責任者が保管・管理します。
研究組織	研究責任者 広島大学病院口腔検査センター 教授 加治屋 幹人
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5727 広島大学病院口腔検査センター 講師 新谷 智章</p>